

■東京支部活動の報告

① 支部役員会を開催しました。

令和4年度の活動計画についての会議を行いました。コロナ対策には十分留意し オンライン会議・配信を活用して 安全安心 な同窓会活動を行ってまいります。

今後の支部予定

- 4月23日(土):代議員会開催 場所:書類郵送・オンライン会議
 - 5月14日:財団・柑芦会・理事会総会 場所:大阪
 - 5月〇日:第2回鎌倉歴史探訪歩こう会「鎌倉殿の13人」ゆかりの地
 - 5月13日:春季ゴルフ会 場所:川崎国際生田緑地ゴルフ場
 - 7月 中旬 :代議員会報告、支部総会&懇親会案内状発送 業務委託)
 - 9月24日 ごろ 東京 支部総会&懇親会 場所:損保会館
 - 10月 現役学生との交流会(和太ホームカミングデー)
- ※その他の予定は日程が決まり次第ご連絡致します。

◆和歌山大学 ニュース

① 第134回わだい浪切サロンのお知らせ

近年、K-POPや韓流ドラマ、韓国コスメ、韓国料理などのKカルチャーが世界で注目されています。韓国の人たちが歴史の流れの中で作り上げてきた「時代の雰囲気」が積み重なった今の「韓国的なセンス」が、いまや世界中の人たちの心をとらえているのは興味深いことです。今回はKカルチャーの中でも特に歌謡にフォーカスして、韓国近現代史の出来事と、その時を生きた人たちによって込められた感情などを考えます。関心がある方はどなたでもご参加いただけます。

タイトル | Kミュージックから韓国社会を読み解く-歌謡が映し出す近現代史と韓国の今-

話題提供 | 新保 朝子(しんぼ ともこ)さん(桃山学院大学国際教養学部 准教授)

日 時 | 2022年3月16日(水)19時~20時30分

お申し込みはコチラ <http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/news/2022011500018/>

②「紀州の山椒展」和歌山大学が科学的に解説

パネル展&シンポジウム「紀州の山椒(さんしょう)展」が3月7日から、和歌山市民図書館(和歌山市屏風丁、TEL 073-432-0010)で始まる。和歌山大学紀伊半島価値共創基幹食農総合研究教育センター(栄谷)と同館の共催。和歌山県が全国の生産量の約6割を占める特産品のサンショウを科学的に知ってもらい、栽培農家の高齢化など産地が抱える課題と新たな取り組みを紹介する。

詳しくはコチラ <https://wakayama.keizai.biz/headline/2035/>

③コロナ禍にTwitter上で拡散したデマツイート、東大と和歌山大が調査

東京大学と和歌山大学の研究チームが発表した論文「新型コロナウイルス感染症流行時におけるTwitter上の流言訂正情報に関する分析」は、新型コロナウイルス感染症で起こったパンデミック時にTwitterに投稿された流言を収集し分析した調査書だ。Twitterによる流言の拡散は、適切な情報共有を阻害し、情報受信者を誤った行動に導き、さまざまな損失を与える場合がある。2019年11月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症のパンデミックで実際に発生した非常事態下(以下、コロナ禍と呼ぶ)においては、伝搬した流言をきっかけとし、食料品や生活用品の買い占め、健康被害につながる誤った情報に基づく行動など、生活に影響を与える流言がTwitter上に多数投稿されるなどの問題が生じた。

▼ 詳細はこちら <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2202/08/news055.html>

俳句の会「芦火」第 697 号 令和4年 3月号

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがでしょうか？

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL : 096-382-4767

令和四年三月一日発行
三月号



柑
蘆
同
人
誌

芦火

第 6 9 7 号
2 0 2 2 . 3

今月の表紙
春
泥

清記を終えて 2
69730号

○ 純一さんの散歩道の自然。一月に続き今月も木の美、彩の少ない中で木の実は目立つ。鳥たちが啄む季節。梅に鶯ではなく、目白を見かける。しかし鳥の写真はじつとしていないので難しい。オオイタビは知らなかった。

○ 今月はみきをさんが入院で欠詠となるも、甲舟さんの参加で18名の選者。上位七名に点が集中した。3点句が多かったのは、今一度の推敲と何回も声に出して読み返す作業が必要であると痛感している。

○ 今月の高得点者に恵吾さんと碧亥さんが並んだ。切り捨て御免をお願いする。696号の切り捨てがされていないので、696号清記、697号清記いずれでも構いません。よろしくお願ひ致します。

○ コロナは2月5日の100万人越をピークにやや下降気味である。海外では患者が多いにも関わらずマスク義務を外した国が増えている。重症者は少ないものの、高齢者、基礎疾患のある人の死亡数の増加がみられる。子供の感染も多く、学校での閉鎖が増加している。

○ コロナは従来の知見を超える戦いで、予断を許さないところが難しい。2月末には減少するとの楽観論に期待する。それまでは高齢者は我慢、我慢、我慢。

○ 政治的ポイユットが始まった北京五輪も始まってみると、スポーツの素晴らしさに目を奪われる。今まで知らなかった競技で日本選手が活躍しているのはうれしい。4年間で自分を頂点にしなければならぬ五輪は、運命としか言いようがない面を含んでいる。またルールについていつも疑問が出てくる。事後ではなく事前に明確な基準を設けてほしい。スポーツは、目に見えるルールがすべてである。

○ ロシアのウクライナ侵攻姿勢で世界の緊張が続いている。原油高騰が経済に緊迫感を与えながら、プーチン、バイデンの駆け引きを世界は凝視している。武力による現状変更問題は中国の台湾問題と重なり、二十一世紀の大きな問題となっている。日本はまずこの国をどのような国にするのが、問われている。米国、中国にも自分の意見を言える国。石原慎太郎は自立を求めながら逝ってしまった。

◎ 本月高得点者
16点 恵吾 碧亥 15点 温州 14点 純一、としを 13点 みきを、徳心

◎ 本月高得点句
7点 足るを知る人であれかし年新た みきを
7点 古民家や築百年の隙間風 温州
7点 注連飾波打ち寄する夫婦若 恵吾
5点 老老の家なり遅々と年用意 としを
5点 捨てぜりふごとき一声寒鴉

惜しい！4点句 コロナ禍の〓純一、老車夫の〓碧亥、岩山の〓燕行、書くことの〓としを

次号宗匠（一切捨て御免）担当 一 恵吾 碧亥

兼題 春泥 春の泥は特別である。そこには悦びがある。「雪岸叢梅発、春泥百草生」詩人杜甫。雪の岸辺には梅が咲き、春の泥には草が生える。雪解け、芽吹きを期待している。

・春泥に押し合ひながら来る娘 高野素十
・乗り入れて馬場の春泥匂ふかな 西村和子
・春の泥跳んでお使ひ忘れけり 黛まどか
・遊ぶことばかりかんがへ春の泥 田中裕明

・春泥を桂馬に跳んでたのしませ 上田五石
・武蔵野の春泥重く歩きけり 上林暁
・午前より午後をかがやく春の泥 宇喜多喜代子
・売られ行く牛春泥をつけしまま 阿部寿雄

◆和歌山関連 ニュース

① 来年度も地域おこし継続 和歌山大学と和歌山FB

和歌山大学が、さわかみ関西独立リーグの和歌山ファイティングバーズ(FB)と協力して、地域を活性化させるプロジェクトに取り組んでいる。本年度のイベントとして経済学部が学生3人が企画した野球教室は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、来年度以降も計画を継続し、発展させるという。来年度以降は、和歌山大教育学部のゼミが主体になってプロジェクトを引き継ぐ。

FBの中田悦弘取締役は「学生たちの自由な発想に刺激を受けた。この取り組みを点で終わらせるのではなく、学生を主体にして県全体に広げたい」と話している。

詳しくはコチラ <https://www.agara.co.jp/article/183063>

② 和歌山・由良で地域課題解決型事業活動プランコンテスト

和歌山大学の経済学部生が「みかんサウナ」で最優秀賞を獲得

同コンテストは、地場産業を活性化し安定した雇用創出・地域経済の浮揚を狙い、和歌山大学(和歌山市栄谷)の協力を得て初開催した。「由良町の旅館の宿泊客を増やす」「由良町の海産物の売上高を増やす」の2テーマで昨年7月から10月まで学生のアイデアを募集したところ、全国8大学から39件の応募があった。

▼ 詳細はこちら <https://wakayama.keizai.biz/headline/2036/>

③熊野の観光開発へ共同研究 不動産開発会社と和歌山大

不動産開発などを手掛ける「日本ユニスト」(大阪市西区)と和歌山大学は、大阪から熊野本宮大社(和歌山県田辺市本宮町本宮)へと先人が歩いた道「熊野街道」の宿場町の再現や観光商品の開発を目指し、共同研究を始めた。同社は昨年10月、田辺市中辺路町高原の熊野古道沿いに、宿泊施設「SEN. RETREAT TAKAHARA(センリトリート タカハラ)」を開業。今年中に、古道近くの中辺路町近露、同市本宮町渡瀬、新宮市熊野川町西にも宿泊施設を開業する予定。将来的には、大阪から熊野本宮大社までを約10日間かけて歩くツアーを開催する計画を立てている。

▼ 詳細はこちら <https://www.agara.co.jp/article/184372>

④「KIOI SPRING 2022 紀尾井桜テラス」開催！

この春、東京ガーデンテラス紀尾井町(東京都千代田区紀尾井町1番3号)では、「桜・紀尾井町駅」をテーマに、江戸時代の宿駅(宿場町)をモチーフとして桜を楽しむ『KIOI SPRING 2022 紀尾井桜テラス』を開催。これにあわせて『紀尾井町』の由来の一つである、紀州・和歌山を感じられるイベントが開催されます！

【和歌山名産品展】

和歌山の名産品を集めた販売会を開催！出展は日替わりなので来るたび新しい逸品と出逢えます。

あわせて、きっと行きたくなる観光地や、ワーケーション、これからの働き方のご提案も！

和歌山好きはもちろん、少しでも興味がある方はこの機会にぜひ！

開催日時:3月12日(土)～3月21日(月・祝)11:00～18:00

場 所:紀尾井プラザ(紀尾井テラス2階「成城石井」前)

<https://www.tgt-kioicho.jp/feature/event/kioispring2022/index.html>

文・編 47 期中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック

<https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会

東京支部柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00

土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。e-mail: tokyo@kourokai.org